

川上社長のコラム

急に寒くなってきましたね、日中はまだ半袖で作業が出来るような日も多く薄着で出勤される方をよく見かけていましたが、そろそろ厚手の上着が必要な時期になったようです。着がえが増え手荷物が多くなってくると両手が塞がりがちになり、キャビンへの昇降等で転倒することも有りますので、出退勤時は十分に注意しておいてください。

さて、10 月末で大成運輸は 2021 年度の決算を終えました。10 月の数字がまだ確定しておりませんが、庸車売上は昨年より始まった飲料水を城東運輸で取り扱っている関係で増加。自社売上の方は残念ながら前年度比約 3.5～3.6% 程度の減収。通期の総売上は約 0.5% 程度減収の見込みです。

原因としては、やはりコロナ禍の中、製造業を中心に経済活動が制限され、2 年連続で荷物が減少していることが主になりますが、車両が 10 台・人員が 4 名減ったことも影響しました。

しかし、利益につきましては人員減少分を皆さんが効率よくカバーしてくれたこと、後半は燃料が高騰しましたが、期首では価格がまだ低かったことで致命的な影響とならず、おかげさまで継続に十分な利益確保ができました。

.....

このような結果を受けて、今期の営業目標は経済が来春ごろにはコロナ以前の状況に戻っていくことを前提に、自社売上を前年度比約 103%に設定しました。2年かけて2019年度の売上を超えて行く計画です。

そうしたなか、佐賀営業所では少し手狭になって、人も車も増やせない状況でしたが、現在地より南に約 1.5 km 下った 3 号線のすぐ近くに約 1,700 坪の賃貸物件の土地が見つかりました。さっそく 12 月 1 日からの契約をして、新年を新しい形で迎えることが出来そうです。

(今月すでに 2 名仲間が増え、さらに 2~3 名の増員見込みがあり、来年の活躍を期待しています。)

また、他の営業所においても働き方改革に沿った、出勤日の少ない社員等の多様な働き方を採用し、人員を増やしていくことを計画しております。今後も、皆さんに健康で安全に働いていただくため、日常の業務負担を減らせるように様々な工夫に取り組んでまいります。

燃料高騰で今期は苦しいスタートですが、皆さんが速度抑制等、燃料削減に協力してくれることを信じて、冬のボーナスは例年の通り支給予定です。

お互いに、出来ることだけは怠けないように頑張りましょう。